夕刊 臺灣日日新報 昭和十七年四月二十八日（火曜日） 第一万五千百三十七號 (一)
（第二種郵便物認可）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

泰使節團長以下に 謁見、午餐の御殊遇

日泰の親交壽ぐ 御言葉を給ふ

【東京發同盟】既くも天皇陛下には二十七日正午大臣閣下に謁と共にディロック、タイ國大使に同伴された泰使節團の古代の立つタイ國から來朝した日タイ國親善使節團長ヤ・パホン中將外使節一行に對し謁を賜はられ、謁に先だち午前十一時五十分二重橋正門から宮內省差廻しの御馬車に分乘、侍從武官長の奉迎を受けて宮城に入御、表御殿に於ける御小休所に於て暫時御休憩の後、表御殿豐明殿に於ける御會食に臨まれた

【東京發同盟】泰國使節團一行は二十七日午後一時十分二重橋正門から宮內省差廻しの御馬車に分乘、侍從武官長の奉迎を受けて宮城に入御

靖國の遺族に感激

"お父さんがあの御車に"

御羽車拜し思はず吾子抱きしむ

"子"の心に響く"父の靈"

【東京本社特電】大東亞戰爭下最初の戰死一萬五千餘柱を初め續續護國の英靈となられた我が陸海軍將兵の遺骨を奉迎して來た靖國神社春の臨時大祭第四日の二十八日は、午前九時半から本殿に於て勅使參向の下に嚴かに齋行された、この日は天皇陛下の御使として東久邇宮稔彦王殿下、同妃殿下、同第一王子盛厚王殿下、同第二王子多嘉王殿下、同第三王子正彦王殿下、同第四王子義久王殿下、同第五王子恒久王殿下、同第六王子邦壽王殿下、同第七王子鳩彦王殿下、同第八王子孚彦王殿下、同第九王子寬仁王殿下、同第十王子憲仁王殿下、同第十一王子隆彦王殿下、同第十二王子治久王殿下、同第十三王子宣仁王殿下、同第十四王子崇仁王殿下、同第十五王子三笠王殿下、同第十六王子正憲王殿下、同第十七王子貞宮王殿下、同第十八王子貞愛王殿下、同第十九王子貞明王殿下、同第二十王子貞彰王殿下、同第二十一王子貞英王殿下、同第二十二王子貞治王殿下、同第二十三王子貞夫王殿下、同第二十四王子貞雄王殿下、同第二十五王子貞純王殿下、同第二十六王子貞道王殿下、同第二十七王子貞教王殿下、同第二十八王子貞孝王殿下、同第二十九王子貞正王殿下、同第三十王子貞利王殿下、同第三十一王子貞光王殿下、同第三十二王子貞行王殿下、同第三十三王子貞久王殿下、同第三十四王子貞福王殿下、同第三十五王子貞義王殿下、同第三十六王子貞明王殿下、同第三十七王子貞昭王殿下、同第三十八王子貞孝王殿下、同第三十九王子貞正王殿下、同第四十王子貞利王殿下、同第四十一王子貞光王殿下、同第四十二王子貞行王殿下、同第四十三王子貞久王殿下、同第四十四王子貞福王殿下、同第四十五王子貞義王殿下、同第四十六王子貞明王殿下、同第四十七王子貞昭王殿下、同第四十八王子貞孝王殿下、同第四十九王子貞正王殿下、同第五十王子貞利王殿下、同第五十一王子貞光王殿下、同第五十二王子貞行王殿下、同第五十三王子貞久王殿下、同第五十四王子貞福王殿下、同第五十五王子貞義王殿下、同第五十六王子貞明王殿下、同第五十七王子貞昭王殿下、同第五十八王子貞孝王殿下、同第五十九王子貞正王殿下、同第六十王子貞利王殿下、同第六十一王子貞光王殿下、同第六十二王子貞行王殿下、同第六十三王子貞久王殿下、同第六十四王子貞福王殿下、同第六十五王子貞義王殿下、同第六十六王子貞明王殿下、同第六十七王子貞昭王殿下、同第六十八王子貞孝王殿下、同第六十九王子貞正王殿下、同第七十王子貞利王殿下、同第七十一王子貞光王殿下、同第七十二王子貞行王殿下、同第七十三王子貞久王殿下、同第七十四王子貞福王殿下、同第七十五王子貞義王殿下、同第七十六王子貞明王殿下、同第七十七王子貞昭王殿下、同第七十八王子貞孝王殿下、同第七十九王子貞正王殿下、同第八十王子貞利王殿下、同第八十一王子貞光王殿下、同第八十二王子貞行王殿下、同第八十三王子貞久王殿下、同第八十四王子貞福王殿下、同第八十五王子貞義王殿下、同第八十六王子貞明王殿下、同第八十七王子貞昭王殿下、同第八十八王子貞孝王殿下、同第八十九王子貞正王殿下、同第九十王子貞利王殿下、同第九十一王子貞光王殿下、同第九十二王子貞行王殿下、同第九十三王子貞久王殿下、同第九十四王子貞福王殿下、同第九十五王子貞義王殿下、同第九十六王子貞明王殿下、同第九十七王子貞昭王殿下、同第九十八王子貞孝王殿下、同第九十九王子貞正王殿下、同第一百王子貞利王殿下、同第一百一王子貞光王殿下、同第一百二王子貞行王殿下、同第一百三王子貞久王殿下、同第一百四王子貞福王殿下、同第一百五王子貞義王殿下、同第一百六王子貞明王殿下、同第一百七王子貞昭王殿下、同第一百八王子貞孝王殿下、同第一百九王子貞正王殿下、同第一百十王子貞利王殿下、同第一百十一王子貞光王殿下、同第一百十二王子貞行王殿下、同第一百十三王子貞久王殿下、同第一百十四王子貞福王殿下、同第一百十五王子貞義王殿下、同第一百十六王子貞明王殿下、同第一百十七王子貞昭王殿下、同第一百十八王子貞孝王殿下、同第一百十九王子貞正王殿下、同第一百二十王子貞利王殿下、同第一百二十一王子貞光王殿下、同第一百二十二王子貞行王殿下、同第一百二十三王子貞久王殿下、同第一百二十四王子貞福王殿下、同第一百二十五王子貞義王殿下、同第一百二十六王子貞明王殿下、同第一百二十七王子貞昭王殿下、同第一百二十八王子貞孝王殿下、同第一百二十九王子貞正王殿下、同第一百三十王子貞利王殿下、同第一百三十一王子貞光王殿下、同第一百三十二王子貞行王殿下、同第一百三十三王子貞久王殿下、同第一百三十四王子貞福王殿下、同第一百三十五王子貞義王殿下、同第一百三十六王子貞明王殿下、同第一百三十七王子貞昭王殿下、同第一百三十八王子貞孝王殿下、同第一百三十九王子貞正王殿下、同第一百四十王子貞利王殿下、同第一百四十一王子貞光王殿下、同第一百四十二王子貞行王殿下、同第一百四十三王子貞久王殿下、同第一百四十四王子貞福王殿下、同第一百四十五王子貞義王殿下、同第一百四十六王子貞明王殿下、同第一百四十七王子貞昭王殿下、同第一百四十八王子貞孝王殿下、同第一百四十九王子貞正王殿下、同第一百五十王子貞利王殿下、同第一百五十一王子貞光王殿下、同第一百五十二王子貞行王殿下、同第一百五十三王子貞久王殿下、同第一百五十四王子貞福王殿下、同第一百五十五王子貞義王殿下、同第一百五十六王子貞明王殿下、同第一百五十七王子貞昭王殿下、同第一百五十八王子貞孝王殿下、同第一百五十九王子貞正王殿下、同第一百六十王子貞利王殿下、同第一百六十一王子貞光王殿下、同第一百六十二王子貞行王殿下、同第一百六十三王子貞久王殿下、同第一百六十四王子貞福王殿下、同第一百六十五王子貞義王殿下、同第一百六十六王子貞明王殿下、同第一百六十七王子貞昭王殿下、同第一百六十八王子貞孝王殿下、同第一百六十九王子貞正王殿下、同第一百七十王子貞利王殿下、同第一百七十一王子貞光王殿下、同第一百七十二王子貞行王殿下、同第一百七十三王子貞久王殿下、同第一百七十四王子貞福王殿下、同第一百七十五王子貞義王殿下、同第一百七十六王子貞明王殿下、同第一百七十七王子貞昭王殿下、同第一百七十八王子貞孝王殿下、同第一百七十九王子貞正王殿下、同第一百八十王子貞利王殿下、同第一百八十一王子貞光王殿下、同第一百八十二王子貞行王殿下、同第一百八十三王子貞久王殿下、同第一百八十四王子貞福王殿下、同第一百八十五王子貞義王殿下、同第一百八十六王子貞明王殿下、同第一百八十七王子貞昭王殿下、同第一百八十八王子貞孝王殿下、同第一百八十九王子貞正王殿下、同第一百九十王子貞利王殿下、同第一百九十一王子貞光王殿下、同第一百九十二王子貞行王殿下、同第一百九十三王子貞久王殿下、同第一百九十四王子貞福王殿下、同第一百九十五王子貞義王殿下、同第一百九十六王子貞明王殿下、同第一百九十七王子貞昭王殿下、同第一百九十八王子貞孝王殿下、同第一百九十九王子貞正王殿下、同第二百王子貞利王殿下、同第二百一王子貞光王殿下、同第二百二王子貞行王殿下、同第二百三王子貞久王殿下、同第二百四王子貞福王殿下、同第二百五王子貞義王殿下、同第二百六王子貞明王殿下、同第二百七王子貞昭王殿下、同第二百八王子貞孝王殿下、同第二百九王子貞正王殿下、同第二百十王子貞利王殿下、同第二百十一王子貞光王殿下、同第二百十二王子貞行王殿下、同第二百十三王子貞久王殿下、同第二百十四王子貞福王殿下、同第二百十五王子貞義王殿下、同第二百十六王子貞明王殿下、同第二百十七王子貞昭王殿下、同第二百十八王子貞孝王殿下、同第二百十九王子貞正王殿下、同第二百二十王子貞利王殿下、同第二百二十一王子貞光王殿下、同第二百二十二王子貞行王殿下、同第二百二十三王子貞久王殿下、同第二百二十四王子貞福王殿下、同第二百二十五王子貞義王殿下、同第二百二十六王子貞明王殿下、同第二百二十七王子貞昭王殿下、同第二百二十八王子貞孝王殿下、同第二百二十九王子貞正王殿下、同第二百三十王子貞利王殿下、同第二百三十一王子貞光王殿下、同第二百三十二王子貞行王殿下、同第二百三十三王子貞久王殿下、同第二百三十四王子貞福王殿下、同第二百三十五王子貞義王殿下、同第二百三十六王子貞明王殿下、同第二百三十七王子貞昭王殿下、同第二百三十八王子貞孝王殿下、同第二百三十九王子貞正王殿下、同第二百四十王子貞利王殿下、同第二百四十一王子貞光王殿下、同第二百四十二王子貞行王殿下、同第二百四十三王子貞久王殿下、同第二百四十四王子貞福王殿下、同第二百四十五王子貞義王殿下、同第二百四十六王子貞明王殿下、同第二百四十七王子貞昭王殿下、同第二百四十八王子貞孝王殿下、同第二百四十九王子貞正王殿下、同第二百五十王子貞利王殿下、同第二百五十一王子貞光王殿下、同第二百五十二王子貞行王殿下、同第二百五十三王子貞久王殿下、同第二百五十四王子貞福王殿下、同第二百五十五王子貞義王殿下、同第二百五十六王子貞明王殿下、同第二百五十七王子貞昭王殿下、同第二百五十八王子貞孝王殿下、同第二百五十九王子貞正王殿下、同第二百六十王子貞利王殿下、同第二百六十一王子貞光王殿下、同第二百六十二王子貞行王殿下、同第二百六十三王子貞久王殿下、同第二百六十四王子貞福王殿下、同第二百六十五王子貞義王殿下、同第二百六十六王子貞明王殿下、同第二百六十七王子貞昭王殿下、同第二百六十八王子貞孝王殿下、同第二百六十九王子貞正王殿下、同第二百七十王子貞利王殿下、同第二百七十一王子貞光王殿下、同第二百七十二王子貞行王殿下、同第二百七十三王子貞久王殿下、同第二百七十四王子貞福王殿下、同第二百七十五王子貞義王殿下、同第二百七十六王子貞明王殿下、同第二百七十七王子貞昭王殿下、同第二百七十八王子貞孝王殿下、同第二百七十九王子貞正王殿下、同第二百八十王子貞利王殿下、同第二百八十一王子貞光王殿下、同第二百八十二王子貞行王殿下、同第二百八十三王子貞久王殿下、同第二百八十四王子貞福王殿下、同第二百八十五王子貞義王殿下、同第二百八十六王子貞明王殿下、同第二百八十七王子貞昭王殿下、同第二百八十八王子貞孝王殿下、同第二百八十九王子貞正王殿下、同第二百九十王子貞利王殿下、同第二百九十一王子貞光王殿下、同第二百九十二王子貞行王殿下、同第二百九十三王子貞久王殿下、同第二百九十四王子貞福王殿下、同第二百九十五王子貞義王殿下、同第二百九十六王子貞明王殿下、同第二百九十七王子貞昭王殿下、同第二百九十八王子貞孝王殿下、同第二百九十九王子貞正王殿下、同第三百王子貞利王殿下、同第三百一王子貞光王殿下、同第三百二王子貞行王殿下、同第三百三王子貞久王殿下、同第三百四王子貞福王殿下、同第三百五王子貞義王殿下、同第三百六王子貞明王殿下、同第三百七王子貞昭王殿下、同第三百八王子貞孝王殿下、同第三百九王子貞正王殿下、同第三百十王子貞利王殿下、同第三百十一王子貞光王殿下、同第三百十二王子貞行王殿下、同第三百十三王子貞久王殿下、同第三百十四王子貞福王殿下、同第三百十五王子貞義王殿下、同第三百十六王子貞明王殿下、同第三百十七王子貞昭王殿下、同第三百十八王子貞孝王殿下、同第三百十九王子貞正王殿下、同第三百二十王子貞利王殿下、同第三百二十一王子貞光王殿下、同第三百二十二王子貞行王殿下、同第三百二十三王子貞久王殿下、同第三百二十四王子貞福王殿下、同第三百二十五王子貞義王殿下、同第三百二十六王子貞明王殿下、同第三百二十七王子貞昭王殿下、同第三百二十八王子貞孝王殿下、同第三百二十九王子貞正王殿下、同第三百三十王子貞利王殿下、同第三百三十一王子貞光王殿下、同第三百三十二王子貞行王殿下、同第三百三十三王子貞久王殿下、同第三百三十四王子貞福王殿下、同第三百三十五王子貞義王殿下、同第三百三十六王子貞明王殿下、同第三百三十七王子貞昭王殿下、同第三百三十八王子貞孝王殿下、同第三百三十九王子貞正王殿下、同第三百四十王子貞利王殿下、同第三百四十一王子貞光王殿下、同第三百四十二王子貞行王殿下、同第三百四十三王子貞久王殿下、同第三百四十四王子貞福王殿下、同第三百四十五王子貞義王殿下、同第三百四十六王子貞明王殿下、同第三百四十七王子貞昭王殿下、同第三百四十八王子貞孝王殿下、同第三百四十九王子貞正王殿下、同第三百五十王子貞利王殿下、同第三百五十一王子貞光王殿下、同第三百五十二王子貞行王殿下、同第三百五十三王子貞久王殿下、同第三百五十四王子貞福王殿下、同第三百五十五王子貞義王殿下、同第三百五十六王子貞明王殿下、同第三百五十七王子貞昭王殿下、同第三百五十八王子貞孝王殿下、同第三百五十九王子貞正王殿下、同第三百六十王子貞利王殿下、同第三百六十一王子貞光王殿下、同第三百六十二王子貞行王殿下、同第三百六十三王子貞久王殿下、同第三百六十四王子貞福王殿下、同第三百六十五王子貞義王殿下、同第三百六十六王子貞明王殿下、同第三百六十七王子貞昭王殿下、同第三百六十八王子貞孝王殿下、同第三百六十九王子貞正王殿下、同第三百七十王子貞利王殿下、同第三百七十一王子貞光王殿下、同第三百七十二王子貞行王殿下、同第三百七十三王子貞久王殿下、同第三百七十四王子貞福王殿下、同第三百七十五王子貞義王殿下、同第三百七十六王子貞明王殿下、同第三百七十七王子貞昭王殿下、同第三百七十八王子貞孝王殿下、同第三百七十九王子貞正王殿下、同第三百八十王子貞利王殿下、同第三百八十一王子貞光王殿下、同第三百八十二王子貞行王殿下、同第三百八十三王子貞久王殿下、同第三百八十四王子貞福王殿下、同第三百八十五王子貞義王殿下、同第三百八十六王子貞明王殿下、同第三百八十七王子貞昭王殿下、同第三百八十八王子貞孝王殿下、同第三百八十九王子貞正王殿下、同第三百九十王子貞利王殿下、同第三百九十一王子貞光王殿下、同第三百九十二王子貞行王殿下、同第三百九十三王子貞久王殿下、同第三百九十四王子貞福王殿下、同第三百九十五王子貞義王殿下、同第三百九十六王子貞明王殿下、同第三百九十七王子貞昭王殿下、同第三百九十八王子貞孝王殿下、同第三百九十九王子貞正王殿下、同第四百王子貞利王殿下、同第四百一王子貞光王殿下、同第四百二王子貞行王殿下、同第四百三王子貞久王殿下、同第四百四王子貞福王殿下、同第四百五王子貞義王殿下、同第四百六王子貞明王殿下、同第四百七王子貞昭王殿下、同第四百八王子貞孝王殿下、同第四百九王子貞正王殿下、同第四百十王子貞利王殿下、同第四百十一王子貞光王殿下、同第四百十二王子貞行王殿下、同第四百十三王子貞久王殿下、同第四百十四王子貞福王殿下、同第四百十五王子貞義王殿下、同第四百十六王子貞明王殿下、同第四百十七王子貞昭王殿下、同第四百十八王子貞孝王殿下、同第四百十九王子貞正王殿下、同第四百二十王子貞利王殿下、同第四百二十一王子貞光王殿下、同第四百二十二王子貞行王殿下、同第四百二十三王子貞久王殿下、同第四百二十四王子貞福王殿下、同第四百二十五王子貞義王殿下、同第四百二十六王子貞明王殿下、同第四百二十七王子貞昭王殿下、同第四百二十八王子貞孝王殿下、同第四百二十九王子貞正王殿下、同第四百三十王子貞利王殿下、同第四百三十一王子貞光王殿下、同第四百三十二王子貞行王殿下、同第四百三十三王子貞久王殿下、同第四百三十四王子貞福王殿下、同第四百三十五王子貞義王殿下、同第四百三十六王子貞明王殿下、同第四百三十七王子貞昭王殿下、同第四百三十八王子貞孝王殿下、同第四百三十九王子貞正王殿下、同第四百四十王子貞利王殿下、同第四百四十一王子貞光王殿下、同第四百四十二王子貞行王殿下、同第四百四十三王子貞久王殿下、同第四百四十四王子貞福王殿下、同第四百四十五王子貞義王殿下、同第四百四十六王子貞明王殿下、同第四百四十七王子貞昭王殿下、同第四百四十八王子貞孝王殿下、同第四百四十九王子貞正王殿下、同第四百五十王子貞利王殿下、同第四百五十一王子貞光王殿下、同第四百五十二王子貞行王殿下、同第四百五十三王子貞久王殿下、同第四百五十四王子貞福王殿下、同第四百五十五王子貞義王殿下、同第四百五十六王子貞明王殿下、同第四百五十七王子貞昭王殿下、同第四百五十八王子貞孝王殿下、同第四百五十九王子貞正王殿下、同第四百六十王子貞利王殿下、同第四百六十一王子貞光王殿下、同第四百六十二王子貞行王殿下、同第四百六十三王子貞久王殿下、同第四百六十四王子貞福王殿下、同第四百六十五王子貞義王殿下、同第四百六十六王子貞明王殿下、同第四百六十七王子貞昭王殿下、同第四百六十八王子貞孝王殿下、同第四百六十九王子貞正王殿下、同第四百七十王子貞利王殿下、同第四百七十一王子貞光王殿下、同第四百七十二王子貞行王殿下、同第四百七十三王子貞久王殿下、同第四百七十四王子貞福王殿下、同第四百七十五王子貞義王殿下、同第四百七十六王子貞明王殿下、同第四百七十七王子貞昭王殿下、同第四百七十八王子貞孝王殿下、同第四百七十九王子貞正王殿下、同第四百八十王子貞利王殿下、同第四百八十一王子貞光王殿下、同第四百八十二王子貞行王殿下、同第四百八十三王子貞久王殿下、同第四百八十四王子貞福王殿下、同第四百八十五王子貞義王殿下、同第四百八十六王子貞明王殿下、同第四百八十七王子貞昭王殿下、同第四百八十八王子貞孝王殿下、同第四百八十九王子貞正王殿下、同第四百九十王子貞利王殿下、同第四百九十一王子貞光王殿下、同第四百九十二王子貞行王殿下、同第四百九十三王子貞久王殿下、同第四百九十四王子貞福王殿下、同第四百九十五王子貞義王殿下、同第四百九十六王子貞明王殿下、同第四百九十七王子貞昭王殿下、同第四百九十八王子貞孝王殿下、同第四百九十九王子貞正王殿下、同第五百王子貞利王殿下、同第五百一王子貞光王殿下、同第五百二王子貞行王殿下、同第五百三王子貞久王殿下、同第五百四王子貞福王殿下、同第五百五王子貞義王殿下、同第五百六王子貞明王殿下、同第五百七王子貞昭王殿下、同第五百八王子貞孝王殿下、同第五百九王子貞正王殿下、同第五百十王子貞利王殿下、同第五百十一王子貞光王殿下、同第五百十二王子貞行王殿下、同第五百十三王子貞久王殿下、同第五百十四王子貞福王殿下、同第五百十五王子貞義王殿下、同第五百十六王子貞明王殿下、同第五百十七王子貞昭王殿下、同第五百十八王子貞孝王殿下、同第五百十九王子貞正王殿下、同第五百二十王子貞利王殿下、同第五百二十一王子貞光王殿下、同第五百二十二王子貞行王殿下、同第五百二十三王子貞久王殿下、同第五百二十四王子貞福王殿下、同第五百二十五王子貞義王殿下、同第五百二十六王子貞明王殿下、同第五百二十七王子貞昭王殿下、同第五百二十八王子貞孝王殿下、同第五百二十九王子貞正王殿下、同第五百三十王子貞利王殿下、同第五百三十一王子貞光王殿下、同第五百三十二王子貞行王殿下、同第五百三十三王子貞久王殿下、同第五百三十四王子貞福王殿下、同第五百三十五王子貞義王殿下、同第五百三十六王子貞明王殿下、同第五百三十七王子貞昭王殿下、同第五百三十八王子貞孝王殿下、同第五百三十九王子貞正王殿下、同第五百四十王子貞利王殿下、同第五百四十一王子貞光王殿下、同第五百四十二王子貞行王殿下、同第五百四十三王子貞久王殿下、同第五百四十四王子貞福王殿下、同第五百四十五王子貞義王殿下、同第五百四十六王子貞明王殿下、同第五百四十七王子貞昭王殿下、同第五百四十八王子貞孝王殿下、同第五百四十九王子貞正王殿下、同第五百五十王子貞利王殿下、同第五百五十一王子貞光王殿下、同第五百五十二王子貞行王殿下、同第五百五十三王子貞久王殿下、同第五百五十四王子貞福王殿下、同第五百五十五王子貞義王殿下、同第五百五十六王子貞明王殿下、同第五百五十七王子貞昭王殿下、同第五百五十八王子貞孝王殿下、同第五百五十九王子貞正王殿下、同第五百六十王子貞利王殿下、同第五百六十一王子貞光王殿下、同第五百六十二王子貞行王殿下、同第五百六十三王子貞久王殿下、同第五百六十四王子貞福王殿下、同第五百六十五王子貞義王殿下、同第五百六十六王子貞明王殿下、同第五百六十七王子貞昭王殿下、同第五百六十八王子貞孝王殿下、同第五百六十九王子貞正王殿下、同第五百七十王子貞利王殿下、同第五百七十一王子貞光王殿下、同第五百七十二王子貞行王殿下、同第五百七十三王子貞久王殿下、同第五百七十四王子貞福王殿下、同第五百七十五王子貞義王殿下、同第五百七十六王子貞明王殿下、同第五百七十七王子貞昭王殿下、同第五百七十八王子貞孝王殿下、同第五百七十九王子貞正王殿下、同第五百八十王子貞利王殿下、同第五百八十一王子貞光王殿下、同第五百八十二王子貞行王殿下、同第五百八十三王子貞久王殿下、同第五百八十四王子貞福王殿下、同第五百八十五王子貞義王殿下、同第五百八十六王子貞明王殿下、同第五百八十七王子貞昭王殿下、同第五百八十八王子貞孝王殿下、同第五百八十九王子貞正王殿下、同第五百九十王子貞利王殿下、同第五百九十一王子貞光王殿下、同第五百九十二王子貞行王殿下、同第五百九十三王子貞久王殿下、同第五百九十四王子貞福王殿下、同第五百九十五王子貞義王殿下、同第五百九十六王子貞明王殿下、同第五百九十七王子貞昭王殿下、同第五百九十八王子貞孝王殿下、同第五百九十九王子貞正王殿下、同第六百王子貞利王殿下、同第六百一王子貞光王殿下、同第六百二王子貞行王殿下、同第六百三王子貞久王殿下、同第六百四王子貞福王殿下、同第六百五王子貞義王殿下、同第六百六王子貞明王殿下、同第六百七王子貞昭王殿下、同第六百八王子貞孝王殿下、同第六百九王子貞正王殿下、同第六百十王子貞利王殿下、同第六百十一王子貞光王殿下、同第六百十二王子貞行王殿下、同第六百十三王子貞久王殿下、同第六百十四王子貞福王殿下、同第六百十五王子貞義王殿下、同第六百十六王子貞明王殿下、同第六百十七王子貞昭王殿下、同第六百十八王子貞孝王殿下、同第六百十九王子貞正王殿下、同第六百二十王子貞利王殿下、同第六百二十一王子貞光王殿下、同第六百二十二王子貞行王殿下、同第六百二十三王子貞久王殿下、同第六百二十四王子貞福王殿下、同第六百二十五王子貞義王殿下、同第六百二十六王子貞明王殿下、同第六百二十七王子貞昭王殿下、同第六百二十八王子貞孝王殿下、同第六百二十九王子貞正王殿下、同第六百三十王子貞利王殿下、同第六百三十一王子貞光王殿下、同第六百三十二王子貞行王殿下、同第六百三十三王子貞久王殿下、同第六百三十四王子貞福王殿下、同第六百三十五王子貞義王殿下、同第六百三十六王子貞明王殿下、同第六百三十七王子貞昭王殿下、同第六百三十八王子貞孝王殿下、同第六百三十九王子貞正王殿下、同第六百四十王子貞利王殿下、同第六百四十一王子貞光王殿下、同第六百四十二王子貞行王殿下、同第六百四十三王子貞久王殿下、同第六百四十四王子貞福王殿下、同第六百四十五王子貞義王殿下、同第六百四十六王子貞明王殿下、同第六百四十七王子貞昭王殿下、同第六百四十八王子貞孝王殿下、同第六百四十九王子貞正王殿下、同第六百五十王子貞利王殿下、同第六百五十一王子貞光王殿下、同第六百五十二王子貞行王殿下、同第六百五十三王子貞久王殿下、同第六百五十四王子貞福王殿下、同第六百五十五王子貞義王殿下、同第六百五十六王子貞明王殿下、同第六百五十七王子貞昭王殿下、同第六百五十八王子貞孝王殿下、同第六百五十九王子貞正王殿下、同第六百六十王子貞利王殿下、同第六百六十一王子貞光王殿下、同第六百六十二王子貞行王殿下、同第六百六十三王子貞久王殿下、同第六百六十四王子貞福王殿下、同第六百六十五王子貞義王殿下、同第六百六十六王子貞明王殿下、同第六百六十七王子貞昭王殿下、同第六百六十八王子貞孝王殿下、同第六百六十九王子貞正王殿下、同第六百七十王子貞利王殿下、同第六百七十一王子貞光王殿下、同第六百七十二王子貞行王殿下、同第六百七十三王子貞久王殿下、同第六百七十四王子貞福王殿下、同第六百七十五王子貞義王殿下、同第六百七十六王子貞明王殿下、同第六百七十七王子貞昭王殿下、同第六百七十八王子貞孝王殿下、同第六百七十九王子貞正王殿下、同第六百八十王子貞利王殿下、同第六百八十一王子貞光王殿下、同第六百八十二王子貞行王殿下、同第六百八十三王子貞久王殿下、同第六百八十四王子貞福王殿下、同第六百八十五王子貞義王殿下、同第六百八十六王子貞明王殿下、同第六百八十七王子貞昭王殿下、同第六百八十八王子貞孝王殿下、同第六百八十九王子貞正王殿下、同第六百九十王子貞利王殿下、同第六百九十一王子貞光王殿下、同第六百九十二王子貞行王殿下、同第六百九十三王子貞久王殿下、同第六百九十四王子貞福王殿下、同第六百九十五王子貞義王殿下、同第六百九十六王子貞明王殿下、同第六百九十七王子貞昭王殿下、同第六百九十八王子貞孝王殿下、同第六百九十九王子貞正王殿下、同第七百王子貞利王殿下、同第七百一王子貞光王殿下、同第七百二王子貞行王殿下、同第七百三王子貞久王殿下、同第七百四王子貞福王殿下、同第七百五王子貞義王殿下、同第七百六王子貞明王殿下、同第七百七王子貞昭王殿下、同第七百八王子貞孝王殿下、同第七百九王子貞正王殿下、同第七百十王子貞利王殿下、同第七百十一王子貞光王殿下、同第七百十二王子貞行王殿下、同第七百十三王子貞久王殿下、同第七百十四王子貞福王殿下、同第七百十五王子貞義王殿下、同第七百十六王子貞明王殿下、同第七百十七王子貞昭王殿下、同第七百十八王子貞孝王殿下、同第七百十九王子貞正王殿下、同第七百二十王子貞利王殿下、同第七百二十一王子貞光王殿下、同第七百二十二王子貞行王殿下、同第七百二十三王子貞久王殿下、同第七百二十四王子貞福王殿下、同第七百二十五王子貞義王殿下、同第七百二十六王子貞明王殿下、同第七百二十七王子貞昭王殿下、同第七百二十八王子貞孝王殿下、同第七百二十九王子貞正王殿下、同第七百三十王子貞利王殿下、同第七百三十一王子貞光王殿下、同第七百三十二王子貞行王殿下、同第七百三十三王子貞久王殿下、同第七百三十四王子貞福王殿下、同第七百三十五王子貞義王殿下、同第七百三十六王子貞明王殿下、同第七百三十七王子貞昭王殿下、同第七百三十八王子貞孝王殿下、同第七百三十九王子貞正王殿下、同第七百四十王子貞利王殿下、同第七百四十一王子貞光王殿下、同第七百四十二王子貞行王殿下、同第七百四十三王子貞久王殿下、同第七百四十四王子貞福王殿下、同第七百四十五王子貞義王殿下、同第七百四十六王子貞明王殿下、同第七百四十七王子貞昭王殿下、同第七百四十八王子貞孝王殿下、同第七百四十九王子貞正王殿下、同第七百五十王子貞利王殿下、同第七百五十一王子貞光王殿下、同第七百五十二王子貞行王殿下、同第七百五十三王子貞久王殿下、同第七百五十四王子貞福王殿下、同第七百五十五王子貞義王殿下、同第七百五十六王子貞明王殿下、同第七百五十七王子貞昭王殿下、同第七百五十八王子貞孝王殿下、同第七百五十九王子貞正王殿下、同第七百六十王子貞利王殿下、同第七百六十一王子貞光王殿下、同第七百六十二王子貞行王殿下、同第七百六十三王子貞久王殿下、同第七百六十四王子貞福王殿下、同第七百六十五王子貞義王殿下、同第七百六十六王子貞明王殿下、同第七百六十七王子貞昭王殿下、同第七百六十八王子貞孝王殿下、同第七百六十九王子貞正王殿下、同第七百七十王子貞利王殿下、同第七百七十一王子貞光王殿下、同第七百七十二王子貞行王殿下、同第七百七十三王子貞久王殿下、同第七百七十四王子貞福王殿下、同第七百七十五王子貞義王殿下、同第七百七十六王子貞明王殿下、同第七百七十七王子貞昭王殿下、同第七百七十八王子貞孝王殿下、同第七百七十九王子貞正王殿下、同第七百八十王子貞利王殿下、同第七百八十一王子貞光王殿下、同第七百八十二王子貞行王殿下、同第七百八十三王子貞久王殿下、同第七百八十四王子貞福王殿下、同第七百八十五王子貞義王殿下、同第七百八十六王子貞明王殿下、同第七百八十七王子貞昭王殿下、同第七百八十八王子貞孝王殿下、同第七百八十九王子貞正王殿下、同第七百九十王子貞利王殿下、同第七百九十一王子貞光王殿下、同第七百九十二王子貞行王殿下、同第七百九十三王子貞久王殿下、同第七百九十四王子貞福王殿下、同第七百九十五王子貞義王殿下、同第七百九十六王子貞明王殿下、同第七百九十七王子貞昭王殿下、同第七百九十八王子貞孝王殿下、同第七百九十九王子貞正王殿下、同第八百王子貞利王殿下、同第八百一王子貞光王殿下、同第八百二王子貞行王殿下、同第八百三王子貞久王殿下、同第八百四王子貞福王殿下、同第八百五王子貞義王殿下、同第八百六王子貞明王殿下、同第八百七王子貞昭王殿下、同第八百八王子貞孝王殿下、同第八百九王子貞正王殿下、同第八百十王子貞利王殿下、同第八百十一王子貞光王殿下、同第八百十二王子貞行王殿下、同第八百十三王子貞久王殿下、同第八百十四王子貞福王殿下、同第八百十五王子貞義王殿下、同第八百十六王子貞明王殿下、同第八百十七王子貞昭王殿下、同第八百十八王子貞孝王殿下、同第八百十九王子貞正王殿下、同第八百二十王子貞利王殿下、同第八百二十一王子貞光王殿下、同第八百二十二王子貞行王殿下、同第八百二十三王子貞久王殿下、同第八百二十四王子貞福王殿下、同第八百二十五王子貞義王殿下、同第八百二十六王子貞明王殿下、同第八百二十七王子貞昭王殿下、同第八百二十八王子貞孝王殿下、同第八百二十九王子貞正王殿下、同第八百三十王子貞利王殿下、同第八百三十一王子貞光王殿下、同第八百三十二王子貞行王殿下、同第八百三十三王子貞久王殿下、同第八百三十四王子貞福王殿下、同第八百三十五王子貞義王殿下、同第八百三十六王子貞明王殿下、同第八百三十七王子貞昭王殿下、同第八百三十八王子貞孝王殿下、同第八百三十九王子貞正王殿下、同第八百四十王子貞利王殿下、同第八百四十一王子貞光王殿下、同第八百四十二王子貞行王殿下、同第八百四十三王子貞久王殿下、同第八百四十四王子貞福王殿下、同第八百四十五王子貞義王殿下、同第八百四十六王子貞明王殿下、同第八百四十七王子貞昭王殿下、同第八百四十八王子貞孝王殿下、同第八百四十九王子貞正王殿下、同第八百五十王子貞利王殿下、同第八百五十一王子貞光王殿下、同第八百五十二王子貞行王殿下、同第八百五十三王子貞久王殿下、同第八百五十四王子貞福王殿下、同第八百五十五王子貞義王殿下、同第八百五十六王子貞明王殿下、同第八百五十七王子貞昭王殿下、同第八百五十八王子貞孝王殿下、同第八百五十九王子貞正王殿下、同第八百六十王子貞利王殿下、同第八百六十一王子貞光王殿下、同第八百六十二王子貞行王殿下、同第八百六十三王子貞久王殿下、同第八百六十四王子貞福王殿下、同第八百六十五王子貞義王殿下、同第八百六十六王子貞明王殿下、同第八百六十七王子貞昭王殿下、同第八百六十八王子貞孝王殿下、同第八百六十九王子貞正王殿下、同第八百七十王子貞利王殿下、同第八百七十一王子貞光王殿下、同第八百七十二王子貞行王殿下、同第八百七十三王子貞久王殿下、同第八百七十四王子貞福王殿下、同第八百七十五王子貞義王殿下、同第八百七十六王子貞明王殿下、同第八百七十七王子貞昭王殿下、同第八百七十八王子貞孝王殿下、同第八百七十九王子貞正王殿下、同第八百八十王子貞利王殿下、同第八百八十一王子貞光王殿下、同第八百八十二王子貞行王殿下、同第八百八十三王子貞久王殿下、同第八百八十四王子貞福王殿下、同第八百八十五王子貞義王殿下、同第八百八十六王子貞明王殿下、同第八百八十七王子貞昭王殿下、同第八百八十八王子貞孝王殿下、同第八百八十九王子貞正王殿下、同第八百九十王子貞利王殿下、同第八百九十一王子貞光王殿下、同第八百九十二王子貞行王殿下、同第八百九十三王子貞久王殿下、同第八百九十四王子貞福王殿下、同第八百九十五王子貞義王殿下、同第八百九十六王子貞明王殿下、同第八百九十七王子貞昭王殿下、同第八百九十八王子貞孝王殿下、同第八百九十九王子貞正王殿下、同第九百王子貞利王殿下、同第九百一王子貞光王殿下、同第九百二王子貞行王殿下、同第九百三王子貞久王殿下、同第九百四王子貞福王殿下、同第九百五王子貞義王殿下、同第九百六王子貞明王殿下、同第九百七王子貞昭王殿下、同第九百八王子貞孝王殿下、同第九百九王子貞正王殿下、同第九百十王子貞利王殿下、同第九百十一王子貞光王殿下、同第九百十二王子貞行王殿下、同第九百十三王子貞久王殿下、同第九百十四王子貞福王殿下、同第九百十五王子貞義王殿下、同第九百十六王子貞明王殿下、同第九百十七王子貞昭王殿下、同第九百十八王子貞孝王殿下、同第九百十九王子貞正王殿下、同第九百二十王子貞利王殿下、同第九百二十一王子貞光王殿下、同第九百二十二王子貞行王殿下、同第九百二十三王子貞久王殿下、同第九百二十四王子貞福王殿下、同第九百二十五王子貞義王殿下、同第九百二十六王子貞明王殿下、同第九百二十七王子貞昭王殿下、同第九百二十八王子貞孝王殿下、同第九百二十九王子貞正王殿下、同第九百三十王子貞利王殿下、同第九百三十一王子貞光王殿下、同第九百三十二王子貞行王殿下、同第九百三十三王子貞久王殿下、同第九百三十四王子貞福王殿下、同第九百三十五王子貞義王殿下、同第九百三十六王子貞明王殿下、同第九百三十七王子貞昭王殿下、同第九百三十八王子貞孝王殿下、同第九百三十九王子貞正王殿下、同第九百四十王子貞利王殿下、同第九百四十一王子貞光王殿下、同第九百四十二王子貞行王殿下、同第九百四十三王子貞久王殿下、同第九百四十四王子貞福王殿下、同第九百四十五王子貞義王殿下、同第九百四十六王子貞明王殿下、同第九百四十七王子

臺灣日日新報　第一万五千百三十七號　大正（一）

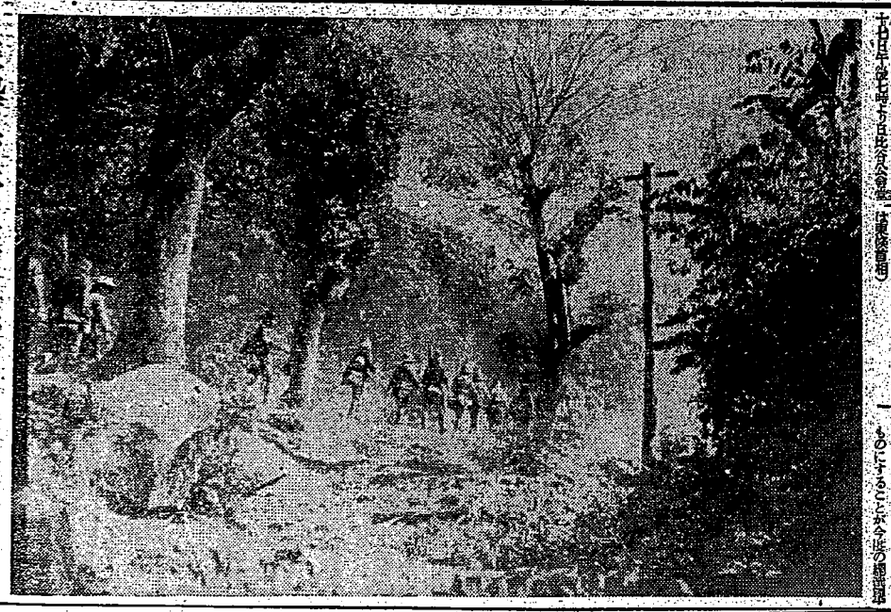
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十七年四月二十八日（火曜日）

臺灣新報

本日夕刊共六頁

炎熱下密林を征く皇軍

バタアン戰線にて



翼賛議會確立こそ國内態勢強化の第一歩

東條首相・國民の協力要望

【情報局發表】翼賛政治體制協議會、翼賛政治會、翼賛壯年團の三團體代表者は二十七日午後二時より首相官邸に會合、東條首相より左の如き懇談があつた、（懇談要旨）

翼賛政治會の總選擧の四月三十日はいよ〳〵數日ののちに迫つた、今次の總選擧こそは現在國を擧げて戰ひつつある大東亞戰爭を完遂するため時劃の重要性を持つものである、すなはち現下內外の新情勢に應じ大東亞戰爭の完遂に向つて國內態勢を强化しこれを一段のすきもないものにすることが今次の總選擧の最大の使命である、この使命を果すためには翼賛政治會の推薦候補者が一人でも多く當選することが必要である、翼賛政治會は翼賛壯年團と緊密なる連絡の下に「翼賛選擧貫徹大運動會」を組織した、先づ翼賛政治會所屬の國會議員諸君、大日本翼賛壯年團の幹部諸君、並びに翼賛政治會、翼賛壯年團の地方支部長諸君が中心となつて、全國に亘り翼賛選擧の趣旨の徹底を期し、翼賛政治會の推薦候補者の當選を期するため二十九日以降五月一日迄の間に全國一齊に翼賛選擧貫徹大運動會の發會式を擧行する豫定である、（翼賛壯年團發會式）

セブ島戰定作戰進む

陸軍部隊　判明せる綜合戰果

【セブ島○○二十七日發同盟】セブ島攻略作戰進行中のわが陸軍部隊はその後も敵軍を壓倒しつゝあるが現在判明せる戰果次の如し

（戰死者）○○、（捕虜）六、（機關銃）一、（小銃）四一、（重機關銃）九、（大砲）二、（自動車）七〇

慶祝使節團長らに畏し　勳章御贈與

廿七日　御沙汰あらせらる

【東京發同盟】民を遙りては　皆せられ二十七日左の如く敍　日泰間親善使節御歸朝ニヤ　勳等に叙せらる　ヤ・ポン・ポンデヘ　ポン殿下以下陸海ら五名な　ビヤ・ポン・ポンデヘ　セーナー　贈呈品目錄花大綬章　れた　泰國陸軍元帥大勳位　大臣遊覽大臣　タワン・タムロン・ナーワ　ーサット　泰國陸軍中將勳一等　同國防衛司令部副官大佐　プラヤット・キタサンカ　同外務省參與勳一等　チヤイ・プラアイ・バセ　ーン　同外務省參與（文官）　在日泰國陸軍武官大佐　ディレック・チャイヤナム　同陸軍少將勳二等　在日泰國陸軍武官大佐

御眞影奉拜式

あす　府廳正殿で

臺灣では二十九日の天長節に當り同日午前九時より正殿において國旗掲揚式並に奉拜式を擧行する

窮極の勝利獲得まで日本と共に戰抜く

バホン國長　泰國民の決意闡明

【東京發同盟】二十七日午後四時半泰國國家元首バホン殿下は泰國公使館に於て記者團と會見し泰國民の決意を闡明されたが殿下は先づ日泰兩國の關係に觸れ日泰兩國は今や大東亞戰爭の完遂に向つて一體となつて邁進しつゝあるが日泰兩國は地理的にも歷史的にも又經濟的にも極めて密接な關係にあり日泰兩國は相互に援助し合ふ關係にあるのである、日本國民としての正義に反くばかりでなく敵國の術中に陷ることである、有難き御言葉はこの際泰國民に取つて最大の激勵であり、我々は一致團結して大東亞戰爭の遂行に邁進しなければならない、日本國民の勇氣と犧牲的精神とは全世界の稱讃の的となつてゐる

社說

南方圏と日本語への熱情

邦語一色で推進すべきだ

一

南方における日本語の普及は、第一に大東亜戦争の目的達成のために必要であるが、第二には大東亜建設の根本理念の一つである各民族の文化の昂揚のためにも必要である。

支那事變 死者論功行賞

陸軍關係 第卅七回

佐官以上一般殊勲者發表

【支那方面軍發二十五日發表】二十五日發表された陸軍關係の殊勲者は次の如し

◇一般殊勲者(佐官以上)

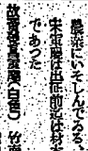
少佐	市川 孝一	東京	中佐	赤枝 孝之	岡山
中佐	平野 政次	千葉	勲杯		
勲杯			少佐	永田 死人	熊本
少佐	山内 繁喜	鹿兒島	勲杯		
勲五			大佐	市村 三郎	京都
大佐	太田 孝三	東京	勲杯		
少佐	大谷 徹	高知	少佐	高岡 繁	佐賀
勲杯			勲杯		
少佐	山内 繁喜	鹿兒島	勲杯		
勲五			少佐	板倉 貫一	愛媛
大佐	太田 孝三	東京	勲杯		
少佐	大谷 徹	高知	大佐	市村 三郎	京都
勲杯			勲杯		
少佐	山内 繁喜	鹿兒島	少佐	高岡 繁	佐賀
勲杯			勲杯		
少佐	山内 繁喜	鹿兒島	少佐	赤枝 孝之	岡山
勲杯			勲杯		
中佐	平野 政次	千葉	勲杯		
勲杯			少佐	永田 死人	熊本

本島人に論功行賞

光榮に感泣する遺家族

戰病死が殘念です

再度の奉公　許君の父語る



【臺南特電】今次擧行の本島人の陸軍志願兵の訓練を終へ軍人として大いなる使命の下に從軍中不幸昭和十五年十月廣東攻略戰に於て戰病死を遂げた故陸軍上等兵許君の父許文龍氏は感激の餘り左の如く語る

皇恩の廣大無邊に感泣いたして居ります、國家の爲めに參加とも御奉公出來るやう常日頃から申聞けて居りましたが不幸にも戰病死を遂げ參考館に祭られて居りましたが、この榮譽も全く皇恩の賜物と感泣して居ります、尚ほ本人としても地下にどんなに喜んで居ることでせう（臺灣日日新報社臺南支局發）

【臺南特電】昭和十七年第一回陸軍志願兵として採用された臺南州下の青年四人の自宅に、昨二十七日午前十時から臺南州知事より出張官吏が各家庭を訪問して左の如く傳達、感激の涙に咽ぶ一幕があつた

故陸軍上等兵　許　君

右者昭和十四年十月廣東攻略作戰に從軍し、同年十二月廣東附近に於て戰病死を遂げたるは誠に遺憾に堪へざるも、其の軍人精神は永く後世に傳へ、以て國家の干城たるの名譽を保持するに足る、仍て茲に弔意を表す

昭和十七年四月二十七日　臺南州知事　高橋重治

【臺南特電】陸軍志願兵の訓練を終へ軍人として大いなる使命の下に從軍中不幸昭和十五年十月廣東攻略作戰に於て戰病死を遂げた故陸軍上等兵許君の父許文龍氏は感激の餘り左の如く語る

皇恩の廣大無邊に感泣いたして居ります、國家の爲めに參加とも御奉公出來るやう常日頃から申聞けて居りましたが不幸にも戰病死を遂げ參考館に祭られて居りましたが、この榮譽も全く皇恩の賜物と感泣して居ります、尚ほ本人としても地下にどんなに喜んで居ることでせう（臺灣日日新報社臺南支局發）

子供を立派に育てる

健げな宋軍屬妻女の話

【臺南特電】故陸軍上等兵許君の遺家族は目下臺南市に在住して居るが、許君の戰病死を聞いた時、妻の許氏は悲嘆の餘り病床に就き、一時は危篤に陷つたが、其の後漸く健康を恢復したので、去る二十七日午前十時から臺南州知事より出張官吏が各家庭を訪問して左の如く傳達、感激の涙に咽ぶ一幕があつた

故陸軍上等兵　許　君

右者昭和十四年十月廣東攻略作戰に從軍し、同年十二月廣東附近に於て戰病死を遂げたるは誠に遺憾に堪へざるも、其の軍人精神は永く後世に傳へ、以て國家の干城たるの名譽を保持するに足る、仍て茲に弔意を表す

昭和十七年四月二十七日　臺南州知事　高橋重治

許氏は感激して左の如く語る

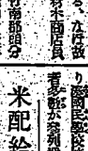
【臺南特電】故陸軍上等兵許君の遺家族は、昨二十七日午前十時から臺南州知事より出張官吏が各家庭を訪問して左の如く傳達、感激の涙に咽ぶ一幕があつた

故陸軍上等兵　許　君

右者昭和十四年十月廣東攻略作戰に從軍し、同年十二月廣東附近に於て戰病死を遂げたるは誠に遺憾に堪へざるも、其の軍人精神は永く後世に傳へ、以て國家の干城たるの名譽を保持するに足る、仍て茲に弔意を表す

昭和十七年四月二十七日　臺南州知事　高橋重治

許氏は感激して左の如く語る



【臺南特電】故陸軍上等兵許君の遺家族は、昨二十七日午前十時から臺南州知事より出張官吏が各家庭を訪問して左の如く傳達、感激の涙に咽ぶ一幕があつた

故陸軍上等兵　許　君

右者昭和十四年十月廣東攻略作戰に從軍し、同年十二月廣東附近に於て戰病死を遂げたるは誠に遺憾に堪へざるも、其の軍人精神は永く後世に傳へ、以て國家の干城たるの名譽を保持するに足る、仍て茲に弔意を表す

昭和十七年四月二十七日　臺南州知事　高橋重治

許氏は感激して左の如く語る

壯丁が執銃猛訓練

新竹州の保甲修練所で

【新竹特電】新竹州の保甲修練所では、第二回修練生として、昭和十六年十月から十二月迄の三ヶ月間、新竹州下の壯丁中から選ばれた二百名の修練生に對し、軍事訓練を施したが、第二回修練生として、昭和十七年四月一日から六月末迄の三ヶ月間、新竹州下の壯丁中から選ばれた二百名の修練生に對し、軍事訓練を施すことゝなつた

高冷地で蔬菜栽培

臺南州が採種圃も新設

【臺南特電】臺南州下に於ける蔬菜の需給關係を調査研究する爲め、臺南州農會に蔬菜係を新設し、更に採種圃をも設置することゝなつた

赤誠の獻金

【臺南特電】臺南州下各地に於ける出征將士の武運長久を祈る國防獻金は、昨二十七日迄に左の如く集まつた

軍司令部（自二十一日至二十七日）　一七圓

皇奉運動

【臺南特電】臺南州下各地に於ける出征將士の武運長久を祈る國防獻金は、昨二十七日迄に左の如く集まつた

高雄州支部打合

お米の配給

嘉義市で五月一日から

【嘉義特電】嘉義市米穀配給組合では五月一日から消費米の配給を實施することゝなり、消費者にこれが周知を計るとともに、國債消化の一助として國債米の消費者に對しては米穀の配給に際し本人をして國債の購入を申込ましめることゝなつた

故伊藤軍曹部隊葬

きのふ高雄湊國民校庭で

【高雄特電】〇〇部隊所屬伊藤軍曹の戰死は、既報の如くであるが、軍曹の遺骨は、二十七日午後二時より高雄湊國民校庭に於て部隊葬を執行した

米配給挺身隊

嘉義來組で結成

【嘉義特電】嘉義市米穀配給組合では米穀及び燃料に關する緊急事態に際し、臨時に配給を實施する爲め、挺身隊を組織することゝなつた

公病死警官

臺南で警察葬

【臺南特電】臺北縣警部として公病死を遂げた臺南縣下三警察官の警察葬は、二十七日午後四時より市役所前廣場に於て臺南州知事山元警務課長、臺南警察署長外官民多數參列の下に執行された、尚當日午前十時から天長節祭をそれぞれ嚴かに擧行した

天長節祭執行

高雄神社で

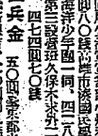
【高雄特電】高雄神社では二十八日午前九時より月次祭を、二十九日午前九時から天長節祭をそれぞれ嚴かに擧行する

植民政策三百年史

（下）　督府外事部　鳥養太一郎氏（寄）

國際的植民地　蘭領印度

蘭の印

中部爪哇の經營を語る

蘭領印度は面積に於ては日本の二十倍、人口に於ては三倍半に當る大植民地で、爪哇にオランダ人として最初に植民地經營の鍬を入れ、その植民政策に成功の基礎を與へた、一六四二年に總督となつたヤンマーテン・ブルンメンの下の植民政策は、一八六二年に至るまで二百年間殆んど變化なく、この間に於ける植民政策は、實に植民政策の第一期であつた、一八六二年にブルンメンの下の植民政策は廢止されたのであるが、この下に於ける植民政策は、實に植民政策の第二期であつた、